

東京春祭を楽しむ(41)

—ライブ配信(41)—

1. 始めに

Web 情報紹介【2025No.51】で紹介した東京春祭 25 のプログラムから興味を引いたプログラムを視聴していきます。今回は、トレヴァー・ピノック指揮紀尾井ホール室内管弦楽団の演奏の配信を試聴しました。

2. 東京春祭ライブ配信の試聴方法

試聴方法は PC から Sonica DAC への送り出しですが、昨年から下記の変更がなされています。

Crystal EpL の導入

Crystal E Jtune に Crystal E 連結

さらに、今回、スイッチングハブ→と PC の LAN 接続の間に OPT ISO BOX の導入(1)で報告する OPT ISO BOX を介在させてみました。

プログラムは次のとおりです。

トレヴァー・ピノック指揮紀尾井ホール室内管弦楽団

日時・会場

2025 年 3 月 23 日 [日] 15:00 開演 (14:30 開場)

東京文化会館 小ホール

出演

指揮・チェンバロ：トレヴァー・ピノック

管弦楽：紀尾井ホール室内管弦楽団

曲目

J.S.バッハ：ブランデンブルク協奏曲 第 3 番 ト長調 BWV1048

J.S.バッハ (ユゼフ・コフレル編)：ゴルトベルク変奏曲 BWV988

(室内管弦楽版/ステュアート・ガーデン校訂) (全曲版日本初演)



3. 東京春祭ライブ配信の試聴結果

チェンバロの弾き振りのピノックは、アナログ時代からお馴染みですが、映像付きで聴くのは初めてで、立ったままチェンバロを弾く弾き振りです。

ブランデンブルク協奏曲第3番ト長調は、お馴染みの曲です。通奏低音は量感があり、チェンバロのソロのパートも繊細です。アンサンブルは、クリアーな直接音の収録です。

ゴルトベルク変奏曲は、通常チェンバロやピアノで演奏されますが、今回は、室内管弦楽への編曲の演奏で、ピノックは指揮のみです。弦と木管の編成のゴルトベルク変奏曲は初めてで日本初演だそうです。弦も木管もソフトな音で、チェンバロの演奏とは違った趣があり、珍しい演奏を聴くことができました。





4. まとめ

東京春祭のライブ配信の受信ができ、昨年との比較では、ステージ感とともにアンサンブルの各パートの楽器の質感が向上し、スピーカーアキュライザーへの **Crystal Ep-G** の導入や PC の仮想アース **Crystal E Jtune** への **Crystal E** 連結および LAN 接続に **OPT ISO BOX** を介在させたことなどの対策が功を奏していることが分りました。

以上